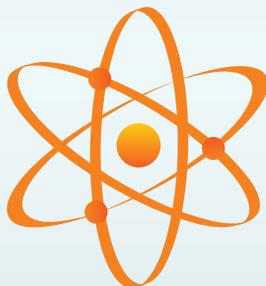




# nature **COMMUNICATIONS**



ネイチャー・コミュニケーションズは、  
オープンアクセスも選択可能な電子ジャーナルです。

# What is NATURE COMMUNICATIONS?



## NATURE COMMUNICATIONS とは?

**学際性** – 生物学、物理学、化学、地球科学などあらゆる分野を網羅。

**重要性** – 各分野の専門家にとって重要な研究成果を示す論文を掲載。

**柔軟性** – 著者の判断でオープンアクセスを選択可能。



**迅速性** – 受理から掲載まで28日以内。

**速報性** – 新しい論文を毎週発表。

# SCOPE and articles types



## 対象範囲と論文の種類

### オリジナル論文限定!

生物学、物理学、化学、地球科学などを対象とする質の高い研究成果を掲載します。

*Nature Communications* は、専門分野にかかわらず、論文の投稿を受け付けます。

*Nature Communications* は、Article形式の一次研究論文を掲載します。記事、短報から長い形式の研究論文まで、幅広く受け付けます。ただし、Editorialや外部執筆者によるReviewが掲載される場合もあります。

取り扱い分野の詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

[www.naturejpn.com/ncomms](http://www.naturejpn.com/ncomms)

Articles

News & Views

Why should I publish in

NATURE COMMUNICATIONS?

## NATURE COMMUNICATIONS に 投稿するメリットは？

### 学際性

広範な分野の記事を受け付けているため、分野をまたぐ研究の受け皿になります。新興領域とともに、取り扱い分野が狭いジャーナルではなかなか取り上げられないような研究成果にも発表の場を提供します。



### 注目度

登録された2000以上の国際ジャーナリストや報道機関に対して、厳選された論文がプレスリリースされます。また、日本から投稿された記事のアブストラクト日本語訳がnaturejpn.com/ncommsの「注目の論文」で公開されるのもメリットです。

### 柔軟性

論文掲載については、従来の購読方式を選ぶこともできますが、article processing charge (APC)を負担してオープンアクセスにすることも可能です。

### 迅速性

受理した研究論文は28日以内に出版することを目指しています。

### ページ制限

*Nature Communications* は電子ジャーナルの特性を活かし、最大10ページまでの論文投稿が可能です。ページ単位の課金もありません。



**OPEN**

ACCESS or subscribed access?

You're in control!!

オープンアクセスか  
従来型購読方式か?

自分で選べます!

Nature Communications は、Natureブランドのジャーナルとしては初めて、オープンアクセスを選択できるジャーナルです。

出版方式について、従来の購読方式にするか、  
或いはAPCを負担してオープンアクセスにするか、  
ご自身でお選び頂けます。

研究費拠出組織や大学のガイドラインにふさわしい  
選択肢を選ぶことが可能です。

オープンアクセスのオプションや  
クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの詳細については  
ウェブサイトをご覧ください。

[www.naturejpn.com/ncomms](http://www.naturejpn.com/ncomms)



# How is **NATURE COMMUNICATIONS** different

## **NATURE** や **NATURE 姉妹誌** との違いは？

### ジャーナルの対象範囲で選ぶ

*Nature Communications* は、*Nature*および*Nature*姉妹誌を補完する目的で生み出されました。特定領域における重要な進歩に対して発表の場を提供するものですが、出版される論文は、*Nature*および*Nature*姉妹誌と同等の幅広い影響力や社会的関心を必ずしも求められるわけではありません。

*Nature Communications* の取り扱い分野が幅広いことは、発生物学、植物科学、微生物学、生態学、古生物学、天文学など、専門の*Nature*姉妹誌がない分野の論文を出版するということでもあります。

論文のテーマが学際的であることで、*Nature*や*Nature*姉妹誌の投稿対象からはずれる論文についても歓迎します。

**nature**



# from **NATURE** and the other **NATURE** journals?

nature  
genetics  
nature  
geoscience  
nature  
materials  
nature  
neuroscience  
nature  
cell biology

**Nature の対象論文:** 幅広い影響力を持ち科学界全体の関心を集める研究成果であり、なおかつその重要性が当該領域にとどまらず、社会的関心の対象となる論文。

**Nature 姉妹誌の対象論文:** 遺伝学や化学、物理学など特定領域の関心対象となる研究成果。それぞれの領域における最高レベルの論文は、それぞれ対応するNature姉妹誌に掲載され、注目を集めることができます。

**Nature Communications の対象論文:** ご自身の研究領域内で関心を集める研究成果。  
**Nature Communications** の掲載論文は、特定の領域にとって重要な進歩を示したものが対象となります。必ずしも領域外まで及ぶインパクトは求められません。

**Scientific Reports の対象論文:** 理論的に妥当な研究成果。理論的に妥当であれば、その領域における概念的進歩を示すものではなかったり、たとえポジティブな結果が示されていたりしなくとも投稿できます。

# Who's dealing with my paper?

## 論文の担当者は?

チーフエディター:

Lesley Anson



英国ブリストル大学  
生物物理学博士

シニアエディター:

Katie Ridd



英国リバープール・ジョン・  
ムアーズ大学  
分子毒物学博士

シニアエディター:

Richard White



英国レスター大学  
有機化学博士

アソシエイト・エディター:

Nicky Dean



英国オックスフォード大学  
物理学博士

# A full time editorial team manages peer review

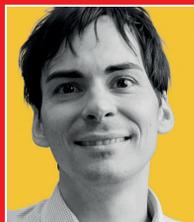
専任の編集チームが  
査読を担当します

アソシエイト・エディター:  
Reetta Saikku



米国南カリフォルニア大学  
古気候学博士

アソシエイト・エディター:  
Christoph Schmitt



オーストリア・ウィーン大学  
薬学博士

アソシエイト・エディター:  
Andrea Taroni



英国ロンドン大学  
ユニバーシティカレッジ  
物理学博士

アシスタント・エディター:  
Curtis Asante



英国ロンドン大学  
ユニバーシティカレッジ  
神経科学博士

# Editorial Advisory Panel

## 編集諮問委員会

専門家のネットワークで科学の全領域をカバーします。

特定の領域内における論文の重要性が不透明な場合、社外の専門家たちによって構成される「編集諮問委員会」のメンバーが、編集チームによる決定に助言を与えます。

詳細について、またはオンラインでの投稿についてはウェブサイトをご覧ください。

[www.naturejpn.com/ncomms](http://www.naturejpn.com/ncomms)



**Luis A. Nunes Amaral 教授**  
ノースウェスタン大学化学生物学工学科  
米国エヴァンストン

**Doron Aurbach 教授**  
ハル・イラン大学化学科  
イスラエル・ラマトガン

**Chris Basler 教授**  
マウント・サイナイ医科大学微生物学  
米国ニューヨーク

**Guy Bertrand 教授**  
カリフォルニア大学化学科  
米国リヴァークサイド

**Mark Brongersma 教授**  
スタンフォード大学材料科学工学科  
米国

**Boudewijn Burgering 教授**  
エトレヒト大学生物医学遺伝学部門  
オランダ

**Jonathan Butterworth 教授**  
ロンドン大学ユニバーシティカレッジ物理学  
天文学科  
英国

**Piero Carninci 教授**  
理研横浜研究所オミックス基盤研究領域  
日本

**Lynda Chin 教授**  
テキサス大学MDアンダーソンがんセンター  
応用がん科学研究所/ゲノム医学科  
米国ヒューストン

**David Clapham 教授**  
ハーバード大学医学系大学院神経生物学科  
ボストン小児病院心臓学科  
ハーワード・ヒュース医学研究所  
米国

**David Coltman 教授**  
アルバータ大学生物科学科  
カナダ・エドモントン

**Brendan Crabb 教授**  
バーネット研究所  
オーストラリア・メルボルン

**Anne Ferguson-Smith 教授**  
ケンブリッジ大学生理学発生学神経科学科  
英国

**Adrian R. Ferre-D'Amare 博士**  
国立心臓血液研究所  
米国ベセスダ

**Brett Finlay 教授**  
プリティッシュコロンビア大学  
マイケル・スミス研究所  
カナダ・バンクーバー

**Jonathan Foley 教授**  
ミネソタ大学環境研究所  
米国

**Peter Fratzl 教授**  
マックス・プランクコロイド界面研究所  
生物材料科学科  
ドイツ・ポツダム

**Jiri Friml 教授**  
ゲント大学VIB植物システム生物学科  
ベルギー

**Chris Frith 教授**  
ロンドン大学ユニバーシティカレッジ  
ウエルカムトラスト神経画像化センター  
英国

**Richard A. Gibbs 教授**  
ベイヤー医科大学分子人類遺伝学  
米国ヒューストン

**Nicolas Gisin 教授**  
ジュネーブ大学物理学科  
スイス

**Alan Hastings 教授**  
カリフォルニア大学環境科学政策学科  
米国デーヴィス

**Ronald T. Hay 教授**  
ダッティー大学  
ウエルカムトラスト遺伝子調節発現センター  
英国

**Ian Hickson 教授**  
コペンハーゲン大学細胞分子医学科  
デンマーク

**Kay E. Holekamp 教授**  
ミシガン州立大学動物科学科  
米国イーストラッシング

**Dr. Linda Holland 博士**  
カリフォルニア大学スクリプス海洋研究所  
米国ラホヤ

**Thomas Ihn 教授**  
チューリッヒ工科大学ヘンガーベルク校  
固体物理学研究所  
スイス・チューリッヒ

**Mark A. Jobling 教授**  
レスター大学遺伝学  
英国

**R. Paul Johnson 教授**  
ハーバード大学医学系大学院  
ニューイングランド薬長類研究センター  
米国サウスバラ

**Reto Knutti 教授**  
チューリッヒ工科大学大気気候科学研究所  
スイス

**Robert J. Lefkowitz 教授**  
デューク大学医療センター  
ハーワード・ヒュース医学研究所  
米国ダーラム

**Benjamin List 教授**  
マックス・プランク石炭研究所  
ドイツ・ミュールハイム

**Zachary F. Mainen 教授**  
グルンギン科学研究所  
シャンパニー第一神経科学プログラム  
ポルトガル・リスボン

**Olivier Marchal 博士**  
ウッズホール海洋研究所地質学地球物理学  
米国

**Diane J. Mathis 教授**  
ハーバード大学医学系大学院病理学  
米国ボストン

**Mark Mattson 教授**  
国立加齢研究所神経科学研究科  
米国ボルティモア

**Marc Montminy 教授**  
ソーック生物学研究所  
米国ロイヤ

**Benjamin J. Nichols 博士**  
MRC分子生物学研究所  
英国ケンブリッジ

**大野 英男 教授**  
東北大学  
省エネルギー・スピントロニクス集積化シス  
テムセンター  
宮城県仙台

**Oskar Painter 教授**  
カリフォルニア工科大学ナノ科学研究科  
米国ワトソン

**Kevin J. Peterson 教授**  
ダートマス大学生物科学科  
米国ハーヴァー

**Christian Pfeiderer 教授**  
ミュンヘン工科大学物理学  
ドイツ

**Tsvi Piran 教授**  
ヘブラ大学ラカ物理化学研究所  
イスラエル・エルサレム

**Lawrence Que, Jr. 教授**  
ミネソタ大学化学科  
米国ミネアポリス

**Jairo Sinova 教授**  
テキサスA&M大学物理学天文学科  
米国

**Fred Spoor 教授**  
マックス・プランク  
進化的人類学研究所  
ドイツ・ライプツヒ

**Professor Jonathan W. Steed**  
ダーラム大学化学科  
英国

**Francesco Stellacci 教授**  
ローザサ工科大学材料科学工学科  
スイス・ローザンヌ

**Azim Surani 教授**  
ケンブリッジ大学  
ウエルカムトラスト/英国がん研究基金  
ガードン研究所  
英国

**Z. Valy Vardeny 教授**  
ユタ大学物理学科  
米国ソルトレークシティ

**Christopher Walsh 教授**  
ハーバード大学医学系大学院  
生物化学分子薬理学科  
米国ボストン

**Michael R. Wasielewski 教授**  
ノースウェスタン大学化学科  
米国エヴァンストン

**David A. Weitz 教授**  
ハーバード大学物理学科  
米国ケンブリッジ

**Stephen H. White 教授**  
カリフォルニア大学アーバイン校  
生理学生物物理学科  
米国



[www.naturejpn.com/ncomms](http://www.naturejpn.com/ncomms)